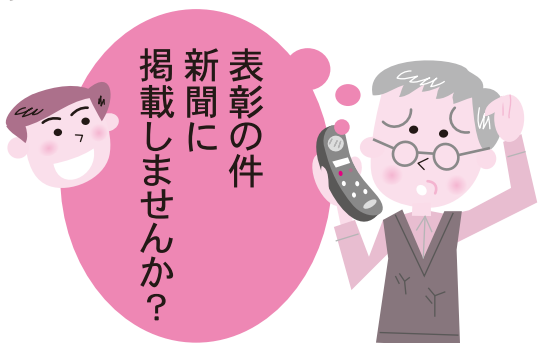


表彰の記念に？

Q 高齢の父が表彰を受けたところ、業者から「そのことを新聞に載せましょう」と電話がありました。父は一回きりのつもりで了解し、契約書にサインして返送すると、ごく簡単な父の経歴が載った業界新聞が送られてきました。

ところがその後、頻繁にほかの業者からも電話が掛かるようになり、断り切れないままあいまいな返事をしていたところ「契約は成立した」と書面が送られ、サインを求められたと言うのです。どうしたらいいでしょうか？



A 最近、高齢者に対し「過去の経歴(叙勲・表彰など)や趣味の実績(写真・絵など)を掲載しましょう」としつつこく勧誘するトラブルが発生しています。「紳士録名簿」「業界新聞」「雑誌」などへ経歴や実績を掲載し、その費用を請求するというものです。なかには「卒業校応援メッセージ」を載せませんか、などというものであります。

一度契約すると、その情報が業者間で交換されるのか、次々に被害に遭うケースも見受けられます。突然電話で掲載を勧められても、その場で契約せず、家族と相談するなどの冷静さが求められます。

契約を望まない場合は、一言「断ります」ときっぱり意思表示をしましょう。電話勧誘販売は特定商取引法により、契約書面を受け取ってから8日間は無条件で契約を無かったことにできる「クーリング・オフ制度」が適用されます。今回のケースはクーリング・オフができますので、書面で手続きをするよう伝えました。また、既にクーリング・オフのできる期間を過ぎてしまった契約でも、業者の説明が事実と異なっていたなどの問題があれば取り消しを求めることが可能です。どうしても納得できない場合は、できるだけ早く消費生活センターに相談しましょう。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。



なりたエコニュース

～よみがえれ印旛沼～ 10月は印旛沼浄化推進運動月間

今月は印旛沼浄化推進運動月間です。印旛沼は、飲料水、農業用水、工業用水の水源として、また、水産漁場や皆の憩いの場として、わたしたちの貴重な財産となっています。しかし、周辺での都市化の進行などに伴い、水質が悪化し、水道水源としては日本で最も汚れている湖沼となってしまいました。印旛沼の汚れの原因の一つは家庭から流される炊事、洗濯、風呂などの生活排水です。一人ひとりのちょっとした心掛けが水質の浄化につながります。

家庭でできる浄化対策

- 流しの三角コーナーには、ろ紙袋を付けて、調理くずなどを流しに流さないようにしましょう
- 食器や鍋などの油污れは、ほろ布などでふいてから洗いましょう
- 米のとぎ汁は植木にまいたり、無洗米を使うなどして、流しに流さないようにしましょう
- 洗剤は適正な量を使いましょう。洗濯機には糸くずフィルターを付けましょう

○下水道未整備地域では、合併処理浄化槽に切り替えましょう(設置費の補助制度があります。印旛沼流域では、高度処理型浄化槽への転換を対象とした補助制度があります。10ページ参照)

印旛沼浄化推進運動月間中には、印旛沼周辺の市町村においていろいろなイベントや清掃活動が行われます。成田市でも10月14日(日)には印旛沼クリーンハイキング、10月27日(土)には坂田ヶ池で親子自然観察会が開催されます。美しい印旛沼を取り戻すため、ぜひご参加ください。



印旛沼は大切な財産です

※くわしくは環境計画課(☎20-1533)へ。